

2022年度 絵本の取り組み

「毎月楽しみにしている

読み聞かせの時間」



ちゅいれっく初石保育園

流山市内で読み聞かせのボランティアをされている団体「葉」さんが月に一度ずつ、幼児組と乳児組にわかれて読み聞かせに来てくださっています。ちゅいれっく初石保育園の子どもたちは月に一度のこの日をとても楽しみにしています

活動のねらい

コロナ禍により、祖父母に会える機会が減っていたり、異年齢との交流が少ない中、地域の方との交流を通して、いろいろな人との関わりを経験し様々なことを感じ取ってもらいたい・・・そんな思いで「葉」さんに依頼しました。保育園だけでなく、地域の方と連携しながら子どもたちの成長に貢献したいと思っています。絵本だけでなく、手遊びやパネルシアターなど、いつも盛りだくさんのプログラムを用意してくださる「葉」さん。いつもわくわくする楽しい時間をありがとうございます☆



活動成果・次年度に向けて

最初は緊張気味だった子どもたちも、あっという間にボランティアの方々と親しくなり、帰り際には別れを惜しむ姿が見られます。絵本や紙芝居はもちろん、大きなかけ絵本など、園にはない本にも興味を持ってくれるようになりました。これをきっかけに、さらに絵本を楽しんでもらいたい、またお家でも保護者の方と絵本の時間を作ってもらえたら、来年度には絵本の貸し出しが始められるように準備を進めています。



子どもたちの様子

読み聞かせの日は朝から「今日は何のお話かな?」「手遊びするかな?」とわくわくが止まらない子どもたち。幼児組さんは始まるとあっという間に絵本の世界へ引き込まれていきます。真剣なまなざしで、ドキドキしたり、ハラハラしたり、ほっこりしたり♡子どもたちの表情はクルクル変わります。乳児組さんも、話し手の方と一緒に手をたたいたり、指差しをしたり、一生懸命楽しそうに聞いています。乗り物や動物のパネルシアターが登場するとみんな大興奮です!話し手の方の優しくて温かく、時に力強い声に、子どもも大人もいつの間にか引き込まれ、あっという間に楽しい時間が過ぎていきます。

